

佐藤議員（広志会）

令和5年2月13日

知事答弁実録

（教育委員会）

（問）組織の風土改善に向けた取組について

12月定例会では平川教育長を評価しているとの判断だったが、平川教育長に2期目を任せたことの判断について、改めて知事に伺う。

（答）

結果として、このような法令違反の事案が起きている、これは、教育長が自らの責任であると言っているのは、直接的な責任、つまり、違法行為を直接的に生じさせたという直接的なことを言っているわけではなくて、まさに組織風土であるとか、その辺の改善が不十分であったということに対して、責任を負っていると言っているわけであります。

私は、これまでの教育委員会、もちろん組織風土というのは、ある一面ないしは簡単に一つの切り口で切って、それが良いとか悪いとか評価するのは中々難しいですけれども、物事を考えていく、ただ単に上意下達で物事を進めていくといったような、そういった観点の切り口で見た場合に、教育長が就任して以来、その断面で見た場合は改善されていると思います。

ただ、その他の面で不十分な面もあったかと今は理解をしております。

全般で言いますと、様々な教育についての取組を進展させていただいておりますし、全般で言えば、教育長を任命したことについては、全く当時の判断とは変わっておりません。